



## 経営戦略におけるEVIS X1導入について

オリンパス株式会社 | チーフテクノロジーオフィサー 田口 晶弘 | 2020年7月1日

## 免責事項

本資料のうち、業績をはじめとした見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績や実績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

# Let's Be Clear

Elevating the Standard of Endoscopy

## EVIS X1

- 本日は、次世代内視鏡システム「EVIS X1」の製品概要やグローバル導入戦略についてお話をさせていただきます。
- 本製品のグローバルキーメッセージは「Let's Be Clear- Elevating the Standard of Endoscopy」です。
- このメッセージを体現する様々な独自技術について、本日紹介させていただきます。

## 医療分野の位置付け：オリンパス最大の事業分野

EVIS X1

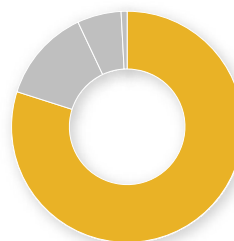


**6,418** 億円

### 医療分野売上高\*

連結の売上高に占める  
医療分野の売上高

\*2020年3月時点の年度売上収益



約 **80%**

### 医療分野売上高比率\*

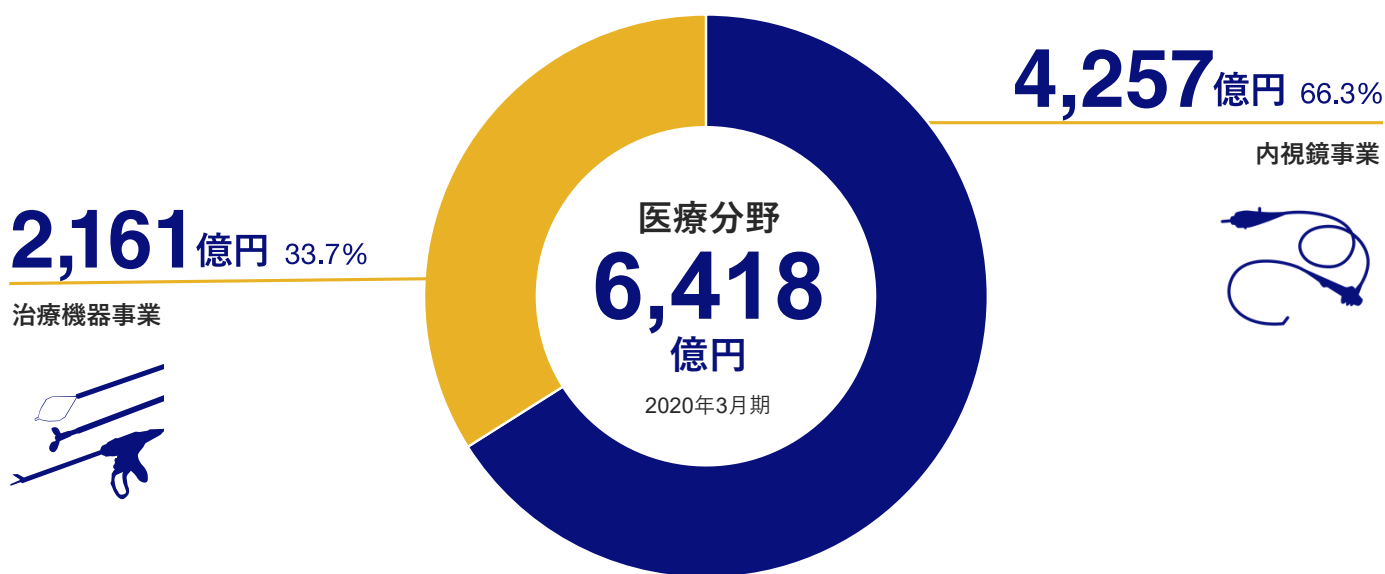
連結の売上高に占める  
医療分野の比率

\*2020年3月時点の年度売上収益

- はじめに、オリンパス全体の事業構成を見ていただきたいと思います。
- ご覧のとおり、約80%の売上は医療分野が占めており、オリンパスの最大の基幹分野となっています。

## 医療分野：内視鏡事業、治療機器事業で構成

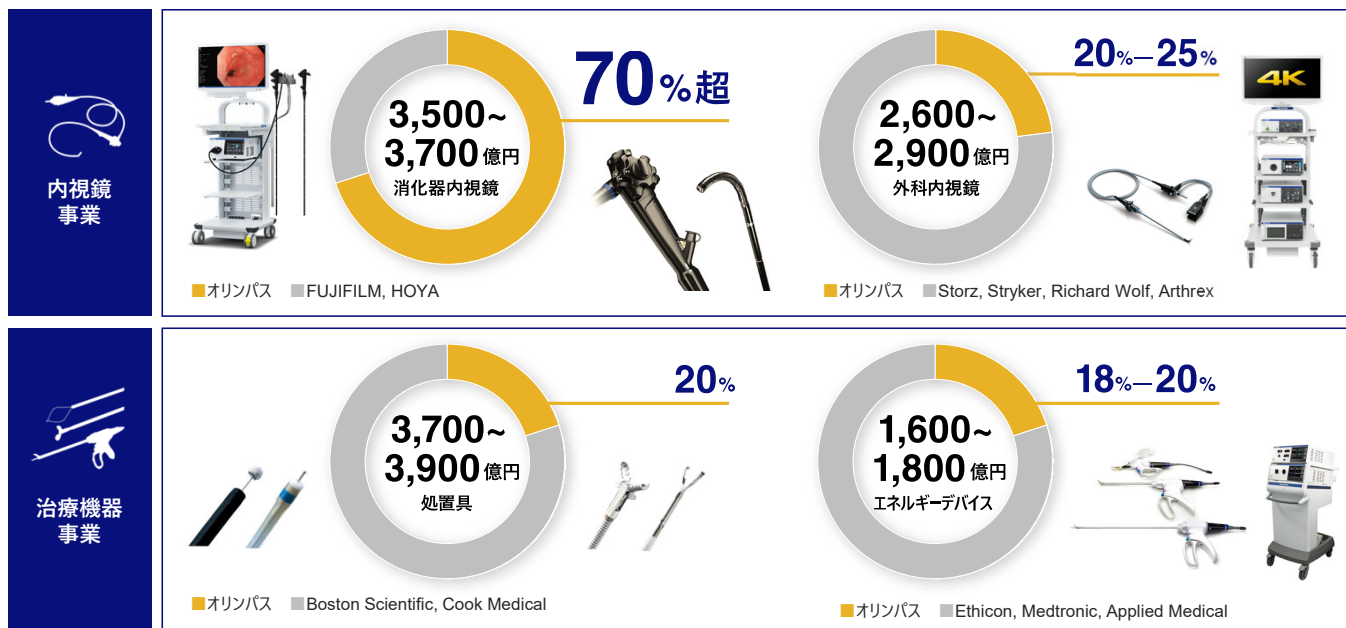
EVIS X1



- 医療と一言で言っても、実に様々な製品を取り扱っておりますが、大きくは『内視鏡事業』と『治療器事業』の2つのセグメントに分けております。(医療分野：6,418億円 / 内視鏡事業：4,257億円 / 治療機器事業：2,161億円)
- 『内視鏡事業』は、消化器内視鏡、外科内視鏡、医療サービスで構成されていますが、それぞれの売上規模は、消化器内視鏡は『内視鏡事業』全体の約60%、外科内視鏡は約15%弱、医療サービスが約30%弱となっています。
- 本日で紹介する「EVIS X1」は、この消化器内視鏡領域を代表する基幹製品であると同時に、オリンパス全体の業績においても最も重要な位置づけとなる戦略製品でございます。

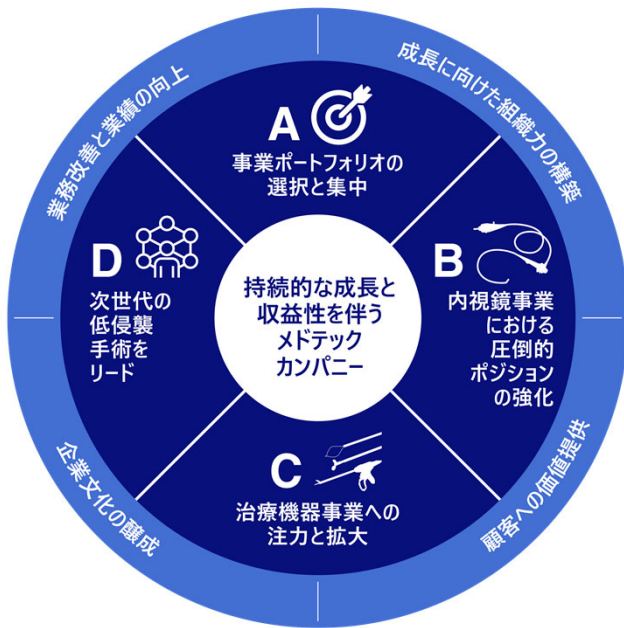
# 各製品における市場規模及び当社シェア

EVIS X1



- 続いて、これらの円グラフをご覧ください。
- 全世界における「早期診断」に使用する消化器内視鏡と、「低侵襲治療」に使用する外科内視鏡および治療機器の市場規模となります。
- ご覧の通り、左上の消化器内視鏡は、世界でシェア70%以上を持っています。
- 今回発売する「EVIS X1」は、この消化器内視鏡において中核を担う製品です。
- この市場で戦い、成長することで、「医療分野における世界トップレベルのプレーヤー」を目指してまいります。

# 経営戦略



## A

医療分野を軸にした事業ポートフォリオ

リユース内視鏡の競争力堅持

## B

シングルユース内視鏡によるポートフォリオ拡充

内視鏡の販売・サービスモデルの強化  
保守サービス、症例ベースのビジネスモデルにシフト

## C

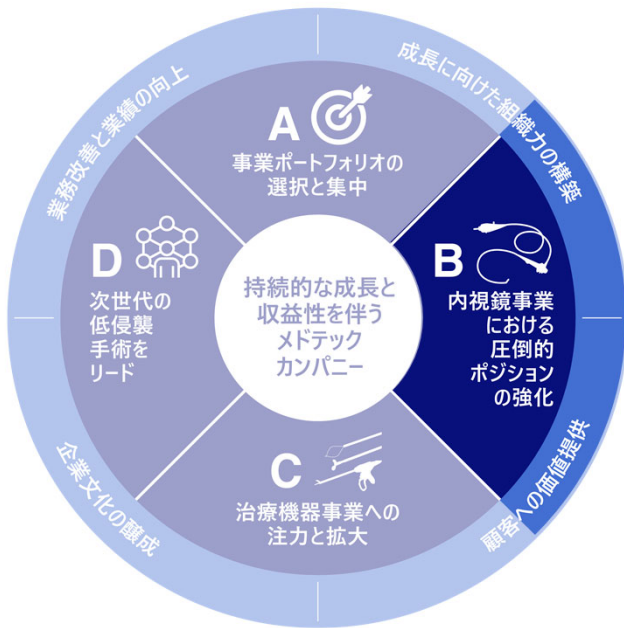
市場セグメンテーションによる治療機器事業の成長加速  
(消化器、泌尿器、呼吸器)

## D

医学的有用性、経済性の向上に寄与する統合技術を導入し次世代の低侵襲手術における競争優位性確立

- 経営戦略説明会（2019年11月開催）においても、消化器内視鏡事業におけるポジションの強化を注力施策の1つとして説明させていただいておりますが、「EVIS X1」は本取組に大きく寄与するものと考えております。

# 経営戦略



## A

医療分野を軸にした事業ポートフォリオ

## B

リユース内視鏡の競争力堅持

シングルユース内視鏡によるポートフォリオ拡充

内視鏡の販売・サービスモデルの強化  
保守サービス、症例ベースのビジネスモデルにシフト

## C

市場セグメンテーションによる治療機器事業の成長加速  
(消化器、泌尿器、呼吸器)

## D

医学的有用性、経済性の向上に寄与する統合技術を導入し次世代の低侵襲手術における競争優位性確立

- 経営戦略説明会（2019年11月開催）においても、消化器内視鏡事業におけるポジションの強化を注力施策の1つとして説明させていただいておりますが、今回新製品は本取組に大きく寄与するものと考えております。



# オリンパスの医療分野が提供する価値

EVIS X1



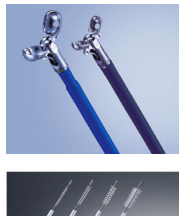
## 拾い上げ～内視鏡治療に貢献



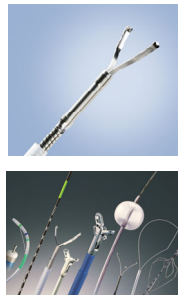
消化器内視鏡システム



拡大内視鏡  
超音波内視鏡



生検鉗子/  
細胞診ブラシ



内視鏡処置具



外科手術用  
内視鏡システム



手術用エネルギー  
デバイス

早期診断から低侵襲治療まで、より安全でより効率的な診断・治療につながる製品を通じて、「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」に貢献する

- オリンパスの医療事業が提供する価値は、大きく2つに分けられます。
- スライド左側に記載しております、消化器内視鏡にて身体の内部を観察し、病気がないかの検査を行う「早期診断」、
- スライド右側に記載しております、内視鏡治療および患者さまに負担の少ない外科手術を行う「低侵襲治療」の2つです。
- 今回発売する「EVIS X1」は、がんなどの消化器疾患の拾い上げ・診断・内視鏡治療の各ステップをサポートする独自技術を搭載しております。技術の詳細については、後ほど倉から説明させていただきます。

## 内視鏡診断、処置の新たなスタンダード化を目指した新内視鏡システム

病変の発見、分類、ステージング、処置に革新をもたらす技術により、内視鏡診断・処置の新スタンダードとなる内視鏡システム



1. CADe – Computer-aided detection 2. CADx – Computer-aided diagnosis

### 発見



#### CADe<sup>1</sup>

- AIによる病変の検出機能による病変の見逃し防止の支援

### 鑑別診断



#### 広被写界深度

- より広い深度の提供で拡大観察を容易とし、拡大内視鏡検査の普及

#### CADx<sup>2</sup>

- リアルタイムでのAIによる診断補助情報の提供

### 病期診断



#### 拡大内視鏡技術

- 高拡大倍率、精細な画像情報の提供により精密な内視鏡診断

### 処置



#### 血管可視化技術

- 血管の可視化による内視鏡処置の効率化



#### 3D imaging

- 空間情報の提供による内視鏡処置の効率化とラーニングカーブ短縮

## 本日の新製品

EVIS X1

### 内視鏡診療の新時代を切り拓く

当社独自のテクノロジーにより、スクリーニングから診断、処置までそれぞれのステップにおいて内視鏡診療の質の向上に貢献します。

欧州・一部アジア地域：2020年4月23日発売

国内：2020年7月3日発売

その他の地域：規制当局の承認が得られた市場から  
順次市場導入を進める

EVIS X1



- これまで当社の医療事業についてお話し致しました。
- 改めまして、新製品である内視鏡システム「EVIS X1」についてお話をさせていただきます。
- 本製品は4月23日に欧州・アジア一部地域で発売し、国内では7月3日より発売開始いたします。
- 前機種「EVIS LUCERA ELITE」「EVIS EXERA III」から約8年ぶりにモデルチェンジする当社最上位機種の内視鏡システムです。

## 新型コロナウイルスへの 当社の対応について

オリンパスは、新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミック（世界的大流行）に伴う世界情勢について監視を続けており、確実な事業継続のためにグローバルタスクフォースを設置しました。

当社にとって、患者さま、医療従事者の皆さま、従業員、そしてコミュニティの健康と安全を守ることは極めて重要です。

当社は、リスクに警戒しつつ製品とサービスの供給を維持すべく、あらゆる対策を講じています。



- 弊社にとりましてEVIS X1は中核事業である内視鏡分野において約8年ぶりの新製品になりますが、新型コロナウイルスが依然として世界に脅威を及ぼす中での発表となりました。ここであらためて、新型コロナウイルスによりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。
- パンデミックという歴史的な危機は一方で、私たちにとりましては、感染症との戦いの最前線に立つ医療従事者の皆様に安定して製品とサービスをお届けするというグローバル・メドテック・カンパニーとしての責任の重さを再確認させる機会にもなりました。
- オリンパスグループではすでにグローバルタスクフォースを設置し、世界各地の情報収集にあたりるとともに、医療関係者の皆様をサポートし、患者様の健康と安全に貢献するため、あらゆる対策を講じてゆきます。

**OLYMPUS**